

REPORT & INFORMATION

お知らせ Information

募集

「子どもの人身売買」キャンペーン 子どもによる活動を企画してみませんか？

計画に参加してくれる「子ども活動プランナー」と活動についての意見を大募集！

来年から日本ユニセフ協会では、子どもの人身売買をなくすための活動をすすめていくことになりました。まずは、来年2月にイベントを開く予定です。

キャンペーンにあたって、ぜひ子どもたちもこの問題に関わってほしいと考えています。この問題に关心があり、もっと知りたい、もっと知らせたい、子どもの立場からこの問題の解決に関わってみたいと考えているネットワーカーに、子どもによる活動を企画してもらえたらしいなと思っているのです。（人身売買については、2～3ページの記事を読んでみてください）

そこで、この活動を企画するメンバーを「子ども活動プランナー」として最大10人募集します。ふだんは主に電子メールで意見交換したり計画をつくったりして、イベントの時などに集まって、考えた計画を実行してもらおうと考えています。活動期間は、来年の夏休みまでを一区切りとします。

どしどし
応募して
ください

条件：できるだけ電子メールでのやりとりができる人。

この問題に対して積極的な活動ができる人。

応募の方法：次のことを書いて、電子メールで送ってください。

(jcuinfo@unicef.or.jp)

- 1) ネットワーカー番号、2) なまえ、3) 学年(年齢)、4) 住所・電話などの連絡先
- 5) このキャンペーンでどんなことをしたいか

しめきり：12月25日(水)



©日本ユニセフ協会/Nozawa

また、プランナーに応募はしないけれど、子どもの立場から人身売買にどのように取り組んだらいいか意見を言いたいという人も、どんどん意見を送ってください。（メールでもファックスでも郵便でもOK）場合によっては、いっしょにメールなどでの話し合いに参加してもらうことができるかもしれません。

ユニセフ
募金活動

ハンド・イン・ハンド実施中

毎年12月はハンド・イン・ハンド（手に手をとっている意味）月間です。毎年、日本全国でボランティアが参加する募金活動がおこなわれています。今年のテーマ「命を守る一滴」予防接種を世界の子どもに」を合言葉に、街角や学校などで募金を呼びかけます。実際に参加したい人は、近くで活動している団体をさがして一緒に参加したり、学校などで仲間をつけて参加申し込みをしたりすることもできます。（申し込みはお早めに）

12月23日（祝）の午後には、東京の恵比寿ガーデンプレイスで中央大会が開かれます。日本ユニセフ協会大使のアグネス・チャンさんや、スポーツ選手などたくさんの有名人も協力してくれる予定です。



昨年の中央大会には、アグネス・チャン日本ユニセフ協会大使、元横綱の花田勝さん、団長方らが参加しました©日本ユニセフ協会/Nozawa

新しい資料のご紹介



みんなに伝えたいこの想い
～第2回 子どもの商業的搾取に反対する
世界会議 子ども＆若者プログラム～ 20分

ユニセフ子どもネットニュースでも何度かとりあげていますが、昨年12月に横浜で開かれたこの世界会議で、子どもや若者たちがどのように活動したかをえがくドキュメンタリービデオです。



世界子供白書2002 リーダーシップ 10分
国連子ども特別総会が開かれた今年の世界子供白書は、世界の子どもたちが健康に幸せに暮らせる世界をつくるために、政府やさまざまなレベルのリーダーシップを求めました。国連子ども特別総会に向けて世界各地でくりひろげられた活動のようなどを報告しています。



ユニセフと世界の子どもたち
世界162の国と地域で活動するユニセフの活動や世界の子どもたちのようすを、映像と説明で見ることができます。（ビデオ「ユニセフと地球のともだち」をベースにしています）



©UNICEF/Stacy Sullivan

*ビデオとCD-ROMを貸し出しています。借りたい人はユニセフ子どもネット事務局まで申し込んでください。（返却のときの郵送料だけ負担してください）

お問い合わせ・もうしこみは

ユニセフ子どもネット事務局

(日本ユニセフ協会 広報室内)

住所：〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12

電話：03-5789-2016

ファックス：03-5789-2036

電子メール：jcuinfo@unicef.or.jp



関西学習会の報告

こんなことを
やりました！日時：11月3日(祝) 10:30～16:00
会場：生活共同組合コープこうべ 生活文化センター5階

午前

1. じこしょうかい 1. じこしょうかい

2. ユニセフとは？？

「世界子供白書2001」と去年の横浜会議のビデオを見て、世界の子どもの現状(これからの課題など)を学びました。

3. これからの活動

これからやっていきたいことを話し合いました。右のようなアイディアが出ました。

全般的に、多くの地域が世界で取り組んでいます。

各学校の文化祭でユニセフに関する展示をする。

来年からのキャンペーン「子どもの人身売買」に関わる。

関西で開かれる、「世界水フォーラム(2003)」に関わる。

エイズの世界会議に関わる。

今日は と について話し合うことにしました。

ハンド・イン・ハンド

関西の子どもネットワーカーと、その友だちを誘ってハンド・イン・ハンドに参加することにしました！駅、警察などに許可を取る人、ユニセフ協会と連絡を取る人など、役割を決めました。場所は人数と許可がとれるかどうかで決めます。最終打ち合わせと、それぞれが説いてきた友だちの顔合わせを、12月28日(土)にすることにしました。

子どもの人身売買キャンペーンについて

春から計画されている署名活動などに参加しよう

・署名は、ちゃんと内容を知ってからじゃないと募金のように気軽にはできない。

⇒ 街頭では無理 ⇒ 個人で各学校などでやる ⇒ まず私たちが知らなきや何も

できない！ ⇒ 人身売買について調べよう ⇒ どうやって調べる？？

・地域を東南アジアに限定する。

・署名活動が始まる頃に、一般の人に知つてもらえるようにワークショップを開くことを目標にする。⇒ 参加してくれた人が身の回りで署名を集めてくれるよう…

・毎月一回の割合で集まって、調べてきたことを共有する。

人身売買について調べていると必ず子どもの商業的搾取の問題にもぶつかるので、そこからエイズのことにも発展させられるはず…

こんな感じで少人数だけど、楽しく有意義な話し合いができたと思います。人数を増やすことを目標なので、ハンド・イン・ハンドでは友だちをいっぱい誘って、人身売買の学習会では18歳以上の元ネットワーカーや、横浜会議(と川崎セミナー)に参加していた大學生も巻き込もうかなあと考えています。

報告者：岩島 史(16歳)

Letter

アメリカ在住のユニセフ子どもネットワーカー

田代準之介君からのおたより

お久しぶりです。今年の6月にアメリカ・カリフォルニア州に引っ越しした、ユニセフ子どもネットワーカーの田代準之介(13歳)です。

ぼくと兄の竜太郎(15歳)は、現在、近所のUnited Nations Store(国連ギフトショップ)で、週一度、ボランティアをしています。ボランティアの内容はさまざまで、接客、レジ打ち、値札はり

から、そうじ、商品の注文など、何でもやります。そこはサン・フランシスコのサン・ノゼ地域で唯一の国連ギフトショップで、国連国際委員会支

部の事務所としての役割もかねています。店は自宅から車で15分くらいの町の中心部(ダウンタ

ウン)にあります。店内はかなりせまく、しかも商品が所せましと並んでいるので余計に狭く感じられます。最近、クリスマス商品の入れ替えなど

がおこなわれてあり、事務に使っている机さえ商品のディスプレイに、使われています。話による

と、クリスマスの時は息をつくひまがないほど忙しいらしく、12月にはいる前に、準備をしておかないと

といけないです。最近はあまりお客さんが多いですが、時にはお客さんと話をしても個人的なつながりを作ったりすることもあり、とても楽しいです！

10月31日はハロウィンで、ぼくはユニセフが実施している"Trick-or-Treat for UNICEF"という募金活動をしました。通常のハロウィンは、子どもたちが"Trick or Treat(いたずらされたい)"それとも"Trick-or-Treat for UNICEF, please(いたずらされたい)"と言って近所の家庭を訪問し、おかしをねだるのですが、この募金活動の場合は

"Trick-or-Treat for UNICEF, please(いたずらされたい)"ともユニセフ募金を"と言って、募金をしてもらうのです。ぼくは20分くらい歩きまわって、17ドリ(およそ2000円)くらい集めました。

2002年11月11日 田代準之介くんのメールより

